

5月の生活表

2025年 5月

聖マリア幼稚園

年主題：ともに

月主題：なんだろう

保育日数（20日）

月目標：＜3歳児＞

- ・保育者や友達とともに祈り、賛美し、見えない神さまを感じる
- ・好きな遊びを見つける。友だちの遊びを見て心と体が動き出しやってみようとする
- ・風の気持ちよさ、草や花の香り、虫の感触などを感じたりする

＜4・5歳児＞

- ・神様の創られた世界の中に、たくさんの恵みや不思議があることに気づき、思いを寄せる
- ・自分の好きなことやまわりのもの・ことに心をとめて、感じて考え動いていく
- ・草花や木々の育ち、虫や小動物の命にふれる

《 子どもと遊んだフレーベルさん 》

『フレーベルは遊びの重要性を主張し、子供の為の教育遊具『恩物』を作り、世界最初の幼稚園を創設された人。村の子供たちと踊ったり遊んだりばかりしていて、「馬鹿爺さん」と呼ばれていた。そんな人が個性を自由に伸ばしていく教育方法を考えだした。その魅力は、子供を心から愛し、共に過ごす時間に喜びを見出し、子供に対して優れた観察力をもち、保育に素晴らしい感性を備え、そして子供の教育に真摯に取り組んでいる姿である。そしていつもの散歩道に置かれたベンチのプレートに「子供たちは保護されたり、教え込まれたりするべきではない、そうではなく、太陽の光の元で幸せに自ら大きくなり、強くなり、成長すべきなのだ」という言葉を残し、美しい散歩道の景色のような自然の園とプレートの言葉のイメージで名づけられたのが《Kindergarten》＝幼稚園。人間は神様によって創造されたもので、子供の本質は生き生きとした遊びによって表されている。子供の遊びは、自分の内面の表現であり、子供の純粋な精神的なものから生み出されたもの。また人間の生命そのものが現れているというもの。だから遊びは、喜び、自由、満足、平安、平和を生み出し、十分に遊んだ子どもは必ず他者と自分の幸せを考える人になると考えた。子どもが一心に遊んでいる時は、自分のうちにあるものを表現している時であり、成長している時なのだ。子供たちの成長を信じて、日々共に過ごす中で、神さまの働きを感じることが大切だとされている。だから子供たちを信じ、理解しようとすることで、人間本来の善良の源を発見して、育て導かなくてはならないと考えた。そこには人間は皆神様によって創造され命を与えられ一人一人かけがえのない存在であり神様の恵みにより生かされていると考えられてきた。』

私たちは、神様と繋がっているというこのフレーベルの基本的な考えや形を日々の保育にどのように生かしていくのか、生かすべきなのかと考えること、それを日々の保育計画の中にどのように表していくのかということを心に留めねばなりません。子どもたちの姿、思いをしっかりと受け止め、会話（対話）する中で、その言葉の端々に現れる優しさや、思いやり、また受容など子供たちと関わる中で、神様の思いを共有できるような日々でありたいと考えます。神様と神様が創られた自然と人間の関係を教育の中で捉えようとした時、不思議が見え、自分で考え、新たな感情を生み出し、命の大切さに気づいて欲しいと思います。

【 チャプレンコーナー 】

年主題：ともに

年聖句：わたしはあなたと共にいる。（旧約聖書・イザヤ書43：5）

5月月間主題：なんだろう

月聖句：空の鳥をよく見なさい。（マタイ6：26）

イエス様は、ユダヤの国のガリラヤ地方・ナザレの村で育たれました。この地域は、美しい湖が中心にあり、自然が豊かなのだそうです。（首都のエルサレムは、荒涼とした乾燥地域だそうです。）イエス様にとっては、豊かな自然に育まれた動植物は、身近な存在だったのでしょう。神様の教えやたとえ話に、よく出てきます。

「空の鳥をよく見なさい...天の父は鳥を養ってくださる。」「野の花...を、神は装ってくださる。」イエス様の目には、空を飛ぶ小鳥や、道や畑のそばで咲く小さな花が、この上なく美しく見えたことでしょう。イエス様は、こんな素敵な鳥や花を創造された神様を賛美されます。同時に小鳥や花は、「小さいもの」の象徴です。大きな鳥や獣に襲われやすい小鳥や、道行く人が何の気なしに踏んでしまう花は、その命がはかなく弱いものです。

「こんなに小さなものにさえ、神様はこの上ない愛を注いでくださるんだよ」と、イエス様は人々に語ります。そして言います。「だから、何も心配することはないんだよ。神様があなた方を愛されないはずがない。ただ、自分のすべきことをし、後は安心して行きなさい。」教えの最後にイエス様はこう言われます。「明日のことまで思い悩むな。その日の苦労はその日だけで十分である。」

先日、園庭で子どもからプレゼントをもらいました。その子が私の手の平に置いてくれたのは、黄色いたんぽぽの花でした。じっくりと眺めると、とても美しい姿をしていることに、改めて気づきました。目を上げると、子どもの笑顔がありました。その笑顔は、私の心をホッとさせてくれるものでした。日々、子どもたちから大切なことを教えてもらっています。

♡ おたんじょうび おめでとうございます ♡

<生活指導>

- ♡ 季節を問わず、目まぐるしい寒暖の差に、体調管理に十分留意しましょう。
 - ・規則正しい生活と、バランスのとれた食事を心がけましょう。
 - ・帰宅後の手洗い、うがいをしっかりしましょう。お風呂（シャワー）・シャンプー・耳あか・爪切りなど、清潔に保つ術を子どもたちにも知らせてください。
 - ・こまめに衣服の調節をしましょう。自分でも気付くように。
- ♡ 神様の恵みに感謝しましょう。
 - ・登降園の道々で神様が下さった命を探し、命あるものを大切にしてみましょう。
好きなお花はなあに？ その色は？ どこで見つけた？ どんな形だった？
好きな動物はなあに？ その大きさは？ どこで見たの？ 絵に描いてみる？
お子さんとの散歩でしばし立ち止まって一緒に眺めてみる時間も大切ですね。
目の高さ・話すスピードとトーン・話す内容・今何に興味を持っているのかetc.
そんな中で神さまの不思議が感じられたら素晴らしいと思いませんか。
- ♡ 自宅でも、自分で出来ることを探し、自信が持てる機会を作りましょう。
 - ・身辺自立に向かって一つずつ挑戦し、自分でできることが増えていきますように。
 - ・季節の移り変わりで、おむつも暑く感じるようになってきますね。一つのチャンス到来です。無理強いはお勧めしませんが、お子さんが自分で出来るかもと思った時には、そのチャンスを活かしてください。たとえ失敗しても本人の気持ちを優先して叱らないように。朝起きてすぐ、食事・車に乗る・寝るなど、ことの始まりの前には準備として「トイレに」を習慣づけられるように声かけをしてみてください。
 - ・大便もですね。お子さんの体調を把握しつつ、お子さんの排便状況も注視して、すぐ対応できるように。そしてトイレでは一緒に「う～ん」と気張ってあげてください。失敗しながらも成功体験で「ああ、気持ちよかったね。すっきりしたね。お尻が汚れなくて、ほらお腹からこんなのが出てきたよ。あっくさ～」と楽しんでトイレタイムを過ごしてみてください。様々な感情を言葉にして共有してみてください
- ♡ 母の日を通して、身近な人たちの事を考えてみましょう。
 - ・お母さんのお仕事は？ と尋ねても、社会の変化で子どもたちが目にするお母さんやお父さんのお仕事も様変わりしてきましたね。でもお母さんだけにしか感謝できないこと、それは赤ちゃんとして産んでくださったことですね。勿論お父さんのサポートあつてのことですが。「お母さんありがとう」と一言、家族で感謝を伝えられると嬉しいですね。